

令和6年度 日独学生青年リーダー交流事業（地方プログラム）報告書

- [主 催] 独立行政法人国立青少年教育振興機構（担当課：子どもゆめ基金部国際・企画課）
※地方プログラム担当：国立曾爾青少年自然の家
- [期 日] 令和6年8月30日（金）～9月4日（水）
- [対 象 者] ドイツ連邦共和国在住で、青少年団体等においてボランティア活動や社会貢献活動を行っている者
- [参加/募集] 11名／11名
- [協力団体] 曾爾村立曾爾小中学校（学校訪問）、曾爾村学童保育（学童訪問）、室生国際交流村実行委員会（ホームステイ）、NPO 法人うだ夢創の里（ホストファミリーとの交流会会場）
- [担 当] 坂本純一（企画指導専門職）
吉田聡美（総務係長）
福田 卓（事業推進係主任）
金端秀太（事業推進係員）

1 趣 旨

日本とドイツの青少年団体等でリーダーとして活動する学生・青年等が文化体験、意見交換や機関・団体での体験活動等を共に 行うことにより、青年リーダーとしての資質を高めるとともに、日独の相互理解と交流の発展を図ることを目的とする。

2 ねらい

体験活動等の場面	(独) ; ドイツ団の主なねらい (日) ; 日本(自然の家法人ボランティア等)の主なねらい
①指導現場・意見交換会、歓迎・交流会ほか	(日)自分たちのボランティア活動について伝える等の交流を通して、ドイツの活動等について学ぶ。 (独)地方施設で活動しているボランティアの実態等について学ぶ。
②日本文化体験 (地域伝統文化体験)	(日独)日本、地域の伝統文化や歴史を知り、体験を通して学んだことを今後の活動につなげる。
③学校・学童保育などでの体験	(日独)共に学内外で活動する中で地域の子どもの実状を学ぶ。 (独)過疎地域・曾爾において異文化紹介の機会をもち、曾爾村に貢献する。
④自然の家プログラム体験	(独)日本の青少年教育施設で実施している活動や指導方法などを学ぶ。 (日)共に活動する中で支援等を行うことで交流を深める。
⑤ホームステイ体験	(独)日本の家庭ではどのように生活をしているのかを知り、文化や生活についての共通点や相違点を学ぶ。

3 プログラム展開

日時	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
8/30 (金)	起床	朝食	チェックアウト／バス乗車 【移動】大阪→曾爾			昼食	インフォメーション			自然の家活動プログラム体験② (曾爾高原ハイキング(亀山))		夕食	入浴	休憩 団ミーティング		就寝	
8/31 (土)	起床	朝食	日本の伝統文化体験① (日本の昔遊び体験)		日本食調理体験 (お好み焼き)		休憩	自然の家活動プログラム体験② (木のスプーン・フォークづくり)		入浴	日本食調理体験 (そうめん、天ぷら)		休憩 団ミーティング		就寝		
9/1 (日)	起床	朝食	日本の伝統文化体験② (茶道体験)		移動	ホストファミリーとの交流会			訪問 (長谷寺)		移動	夕食	入浴	休憩 団ミーティング		就寝	
9/2 (月)	起床	朝食	曾爾ボランティアとの顔合わせ 活動紹介		移動	訪問 (曾爾村立曾爾小中学校)	昼食 (給食)	移動	訪問 (曾爾村学童保育)		移動	休憩 団ミーティング	入浴	夕食	曾爾ボランティアとの歓迎・交流会 休憩 団ミーティング		就寝
9/3 (火)	起床	朝食	自然の家活動プログラム体験③ (野外炊事)			昼食・片付け (野外炊事)		休憩 法人ボランティア ディスカッション 準備	法人ボランティアディスカッション			夕食	入浴 ※希望者はお亀の湯	休憩 団ミーティング		就寝	
9/4 (水)	起床	朝食	退所 準備	退所式	【移動】曾爾→東京 ※マイクロバスで名張駅へ移動												

※8/30～9/1にかけてホームステイを予定していたが、台風の影響により中止となった。

4 活動の様子



【日本の昔遊び体験のようす】



【木のスプーン・フォークづくりのようす】



【茶道体験のようす】



【ホストファミリーとの交流会のようす】



【長谷寺訪問のようす】



【曾爾村立曾爾小中学校訪問のようす】



【曾爾村児童保育訪問のようす】



【ボランティア交流企画のようす】



【曾爾高原ハイキング（亀山）のようす】



【野外炊事のようす】



【曾爾自然の家法人ボランティアとの交流のようす】

5 まとめ（ねらいに対する参加者の感想、ねらいに対するアンケート結果）

- ・ドイツのボランティア制度について講師から詳しく伺うことができ、改めて勉強になった。日本のボランティア制度についてより詳しく知る時間があればなおよかった。
- ・ホームステイが台風の影響で中止となったが、代替のプログラムで日本の文化を学ぶ体験や曾爾青少年自然の家でのプログラムを学ぶ機会があり、大変勉強になった。
- ・児童・生徒との交流、発表、教室での給食や掃除の体験、書道の時間がとても良くて感動した。日本の学校制度を体験できたことで学びを深めることができた。